日本医療機能評価機構認定病院
那珂川病院だより
病院理念 ― 思いやりそして努力　奉仕そしてよろこび
VOL.61 平成27年9月
〒811-1345 福岡市南区向新町2丁目17-17
TEL.092-565-3531（代）
FAX.092-566-6460
http://www.nakagawa-hp.com
（携帯電話でもご覧いただけます）

医療事故調査制度と当院の役割

院長　下川敏弘

ヒメツルソバ

9月になりましたが、まだまだ暑い日が続いています。みなさんはお元気にお過ごしでしょうか。巷では国の安全を守る安保法案が騒がしく議論されていました。多くの憲法学者が憲法違反というのにどうしたことでしょうか。

ところで、10月からはいよいよ医療事故調査制度が開始されます。これは「医療に起因し、又は起因すると疑われる死亡又は死産」で、なおかつ「医療機関の管理者が予期しなかったもの」を第三者機関である医療事故調査･支援センターへ報告をするというものです。報告内容は医療事故調査等支援団体の協力を得て、院内事故調査委員会がまとめ上げることが必要となります。具体的に報告の対象となる事故にはどのようなものがあるのか、予期しなかったとはどういうことを指すのか、報告内容は具体的には何が必要なのか、遺族への説明はいつどのような形でおこなうのか、等々、たくさんのことが課題となってくることが想像されます。

更に、異状死体の届け出義務を定めた医師法21条は厳然と存在しており、異状死については24時間以内の警察への報告が必要とされたままです。遺族に経過を説明し、調査･支援センターへ報告することになったとしても、遺族が希望すれば警察へ捜査依頼をすることは止められません。しかし、多くの事例がセンターへの報告と院内の委員会での検討という行程にのると思われます。当院の委員会でも事象を真摯に受け止め実のある報告書を作成したいと思います。

私たち医療従事者は、患者さんの健康が守られ、病気･怪我が軽快･治癒することにより安心で有意義な人生を送っていただくことを仕事としています。国民としては法を守りながら職務を遂行することは当然です。しかし、図らずも突然の不幸な結果となってしまうことも少なからずあると思います。それでも、私たちが目指すものに変わりはありません。

患者さんやそのご家族に納得していただけるように、那珂川病院の職員一同で心を合わせて、地域の人々の医療･介護･福祉に貢献していきたいと考えています。そのためにもお気づきのことがありましたら、どしどし教えていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

緩和ケアだより

父との思い出

藤　京子（黒川　馨氏の長女）

父との別れから今日でちょうど150日目になります。最初のころは、父の持ち物を見ただけで、涙が出たり、道でよく似たお年寄りの方を見ただけでこみ上げるものがありました。久しぶりに病院へ来ましたが、まだ病院に居るような気がしております。

昨年の５月に腰の圧迫骨折から近くの整形外科に入院し、入院中に片方の肺が真っ白になっている事がわかって九州中央病院へ行き、そこで言われたのが“余命３カ月”。緩和ケアの病院を紹介していただきました。

那珂川病院に転院、約６カ月の入院となりました。今、思い出すのは、父の苦しんでいる姿ではなく、リハビリや音楽を楽しんでいる姿です。色々なイベントに参加させていただきありがとうございました。

遺品の整理をしていると父の書いたメモが見つかり、メモはクリスマス会の後に書いたものです。メモには「西村さん・宇都宮さん　クリスマスのため、アイディア一杯の写真集を作っていただきありがとうございました。心から感謝しております。毎日忙しいのにベルをおせばいつでも来てくれてありがとう」と細々とした字で書いてありました。

父の思いをこの場を借りて伝える事が出来、喜んでいると思います。偲ぶ会に参加出来て感謝しております。ありがとうございます。

平成27年6月10日　偲ぶ会のスピーチより

緩和ケア病棟基本方針

1. 患者さん、ご家族に寄り添い、信頼される質の高いケアを提供する。
2. スタッフ一人一人が役割を自覚し、個々の良さを充分発揮できる。
3. チームが連携をとり、助け合い、認め合い、共に考える環境をつくる。

緩和ケア病棟目標

1. 患者さんに苦痛がなく、持てる力を信じ、発揮できるようサポートする。
2. 患者さん、ご家族の思いに心を傾け、寄り添う。
3. 患者さんの生活環境への気配りをし、人生の振り返りができる状態を整える。

ボランティアだより

今回は今年5月より活動中の『アニマルセラピー・チームS』の紹介をします。

当院には以前よりトイプードル「モカ」・イタリアングレイハウンド「ビスコ」が来てくれていましたが、新しく柴犬の「まめ」と「もも」が仲間に加わり、2チームに分かれて活動中。「チームS」の“S”は、柴犬の「S」から、モカ11歳・ビスコ11歳のお姉さんチームはアダルトの「A」からチーム名がつけられました。

チームAのように芸を披露するのではなく、人と触れ合う事が大好きなわんちゃん達が直接ふれあい、患者さん・ご家族の心を癒してくれます。

“お達者サロン”のご案内

当院では、地域の方々、医療者に向けた「お達者サロン」を6月より全10回で開催しております。

今では2人に1人ががんに罹患すると言われる時代です。がんと闘いながらも、よりクオリティーの高い生活を住み慣れた町で行っていただくために、どのようなサポートができるかを知っていいただこうと企画しました。また、そのサポートメンバーの一員ボランティアについてもお話しいたします。

がん・緩和ケアについて興味のある方、またボランティアに興味のある方もお気軽にお越しください。

日程	テーマ	担当者
9月18日	『なるほど！訪問看護』	訪問看護師
10月16日	『その人らしさを支えるリハビリ』	訪問リハビリ
11月20日	『社会的援助』	社会福祉士
12月18日	『身体症状の緩和』	医師
平成28年 1月15日	『自分らしく生き抜くために！』	緩和病棟看護師
2月19日	『家族ケア』	臨床心理士
3月18日	『ボランティアとは』	ボランティア

会場
那珂川病院
4階病棟談話室

時間
第3金曜日
13時～13時半

問い合わせ
ボランティアコーディネーター
山下 公子（ひろこ）

～病棟イベント～

お月見会

今年も10月7日(水)14時30分から
開催いたしますので、
ぜひお越しください。

那珂川病院 健康教室へのお誘い

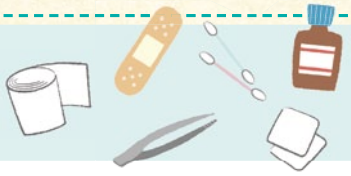
那珂川病院では毎月第3土曜日10:30～11:30に当院5階研修室において、健康教室を開催しています。皆様お誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。

★平成27年1月～7月までに開催しました内容をご紹介いたします。

第37回 平成27年1月17日(土)

「傷は自分で治せるか?
～消毒薬や絆創膏にさよならしよう～」

外科医長
熊澤 浩明 (医師)



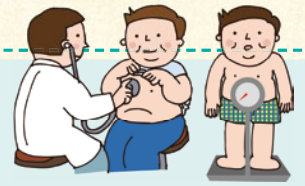
第38回 平成27年2月21日(土)

「お薬手帳を活用しましょう」

二日市中町病院 薬剤部主任
中川 久美子 (薬剤師)

第39回 平成27年3月14日(土)

「賢い健診のすすめ」



副院長
大内田 敏行 (医師)

第40回 平成27年4月18日(土)

「五感を刺激して快適生活
～全身(皮膚など)に関する雑学～」

皮膚・排泄ケア認定看護師
青木 麻里

第41回 平成27年5月16日(土)

「"たまーに"行列のできる 胃腸相談所①
～ピロリ菌一掃大作戦～」

内科医長
筒井 伸一 (医師)

第42回 平成27年6月20日(土)

「退院、その先の施設について」

地域連携室
橋本 理絵 (社会福祉士)

第43回 平成27年7月18日(土)

「笑いは百薬の長」

回復期リハビリテーション部長
古賀 善彦 (医師)

操法大会に参加して

2階病棟看護師　伊藤　香

今回、南区の屋内消火栓操法大会に那珂川病院の代表として参加いたしました。私の他に2人のメンバーと共に、3人操法フリーの部に出場しました。

5月初めから消防士の方の本格的な指導の下で練習をつんでいきました。基本的な動作の練習から一連の流れを覚え、そこから3人で呼吸・動作を合わせること、大きな声で指揮・号令をかける練習をしていきました。回れ右やかけ足などの機敏な動作は、高校での集団行動以来でした。また大きな声を出すことも高校での部活動以来だったため、慣れないことに苦戦をいたしました。

大会では練習以上の大きな声が出せ、動作、スピードともに練習の成果を精一杯発揮することができ、敢闘賞をいただきました。

練習ではいろいろと苦労し大変なこともありましたが、大会を終えてみると達成感がありやってよかったと思いました。たくさん話し合って、たくさん練習をして一緒に頑張ってきたメンバーに感謝しています。

今までは火災についての知識があまりなく、消火栓をさわる機会もありませんでしたが、操法大会へ出場することで消火栓を扱う事ができ、良い経験になりました。火災に遭遇した時は、今回の経験を役立てたいと思います。

「那珂川病院 夏まつり2015」を終えて

古賀善彦

先日８月１日、那珂川病院の夏祭りは盛大に開催されました。那珂川病院創立50周年を記念して平成21年から始まった夏祭りも、今年が４回目となりました。雨の不安はなかったのですが、例年にない猛暑で参加された方々が熱中症で倒れないかと心配でした。当日の15時に「まつり実行委員会」のメンバーが会議室に集まり、みんなで気合を入れて準備を始めました。

４回目ともなると大分慣れてきた部分はありましたが、やはり暑い中大変でした。病院内の長机と椅子を運んでくれたのは主に営繕の方々でした。おにぎりの炊き出しでスタッフを支えてくれたのは、主に師長さんたちでした。祭りの近くにいても参加できない警備を担当してくれたのは病院の男性スタッフでした。そしてすべての模擬店で一生懸命働いてもらった病院のスタッフのおかげで盛会裏に祭りを終えることができました。

大抽選会は非常に盛り上がりましたが、別個に病院スタッフのための大抽選会も必要かもしれませんね（笑）。今回また夏祭り実行委員長を仰せつかって、綾小路よしまろもメジャーデビュー（人前につたない芸をさらけ出すこと）を果たし、ハニーズも呼んで、まずは自己満足でした。

回を重ねるごとに祭りの規模が大きくなり、地域住民の方々の期待も大きくなるばかりです。今後も夏祭りが地域と病院との「明日に懸ける橋」になれば幸いです。

新任医師紹介

総合内科・糖尿病内科　立元（たつもと）　貴（たかし）

本年４月より、那珂川病院で勤務させていただいています、内科の立元貴です。

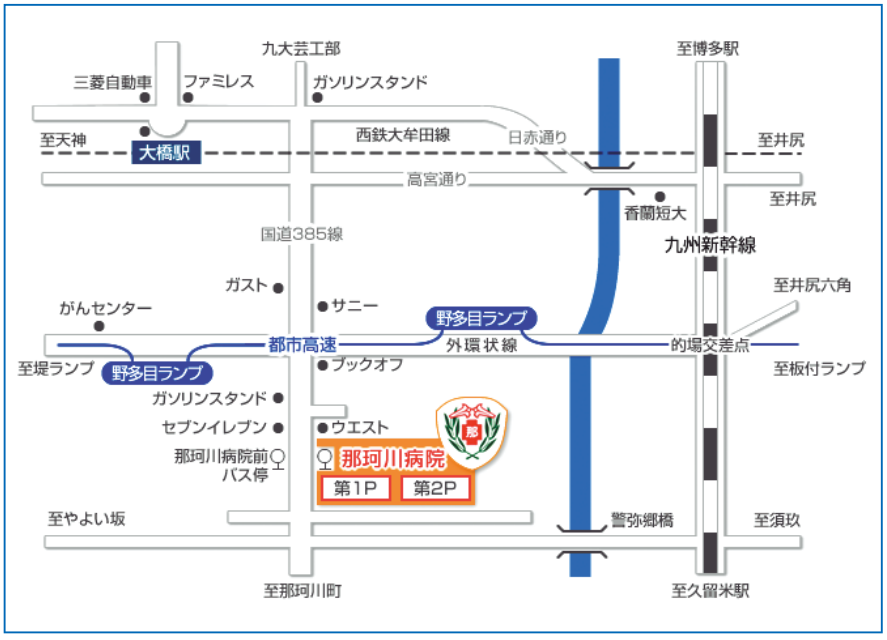
九州大学を卒業後、第一内科に入局し、福岡逓信病院で長く勤務していましたが、このたび、ご縁がありまして那珂川病院で働かせていただくこととなりました。

当院では、総合内科として、糖尿病を中心とした生活習慣病の管理、治療を行っています。コントロール不良の糖尿病など、治療や管理に難渋されている患者様がいらっしゃいましたら、ぜひ、ご相談ください。栄養指導、画像診断、検査等も、ご遠慮なく申しつけください。当院の優れたスタッフと協働して、お応えいたします。

お気軽にご相談ください

これまで、チーム医療による横断的な仕事を志向して、NST、褥瘡、緩和医療まで、多様な病院業務に関わってまいりました。那珂川病院でも、その経験を生かせるよう努力していく所存です。

まだまだ不慣れなことが多く、皆さまにはご迷惑をおかけすることと思いますが、地域医療のお手伝いが少しでもできればと思っています。今後とも、よろしくお願いいたします。



【交通】西鉄バス系統番号4番・47番・62番・620番「那珂川病院前」下車すぐ　■駐車場150台

常勤医師診療担当表

医師名	担当領域
下川　敏弘（院長）	外科・呼吸器外科
大内田　敏行（副院長）	放射線科
吉村　寛志（副院長）	外科・消化器外科
大国　貴史	緩和医療・外科・漢方内科
古賀　健資	外科・健診科
熊澤　浩明	外科・消化器外科
福永　昌幸	外科・麻酔科
古賀　善彦	外科・リハビリテーション科
齊田　光	整形外科
竹内　一馬	血管外科・循環器内科
中本　守人	脳神経外科
筒井　伸一	内科・消化器内科
安藤　智恵	内科・循環器内科
藤澤　正寿	内科・腎臓内科・人工透析
立元　貴	総合内科・糖尿病内科
犬塚　貞明	緩和医療・外科
月江　教昭	緩和医療・循環器内科

平成27年9月1日現在